

令和5年度 可児市の決算

目次	
・ P 1	予算・決算とは
・ P 2	歳入
・ P 3・4	歳出
・ P 5・6	4つの重点方針
・ P 7・8	重点事業以外
・ P 9・10	借入金・基金
・ 巻末	財政指標

はじめに

可児市では、市政の情報を市民の皆さんにより広く知っていただけるように取り組んでいます。予算や決算は、聞き慣れない言葉が多く使われますが、市民の皆さんの生活に関わる大切なことなので、しっかりとお伝えできるよう、この資料を作成しています。

そもそも…
予算や決算って？

予算



まちの“計画書”

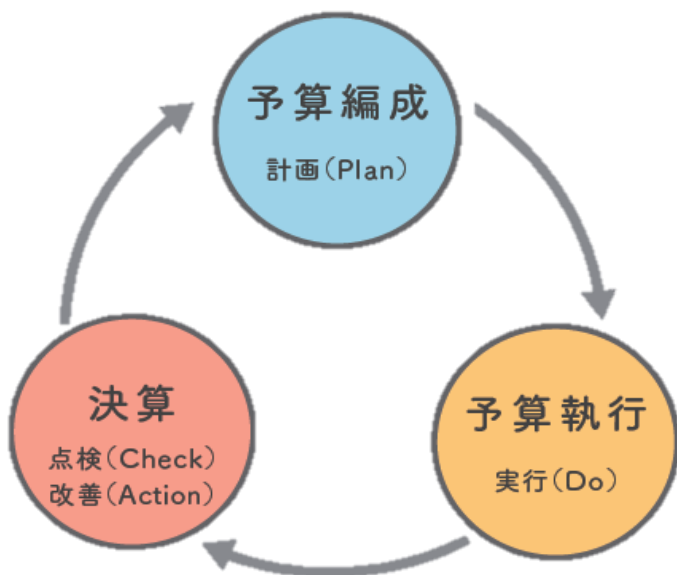
決算



まちの“報告書”

◎予算から決算までの流れ（PDCAサイクル）

予算や決算は、市民の皆さんの代表である議会で審査されます。



●予算編成

可児市にいくらお金が入りそうで、何にいくらお金を使うのか計画を立てます。

●予算執行

計画に沿って、事業を行っていきます。

●決算

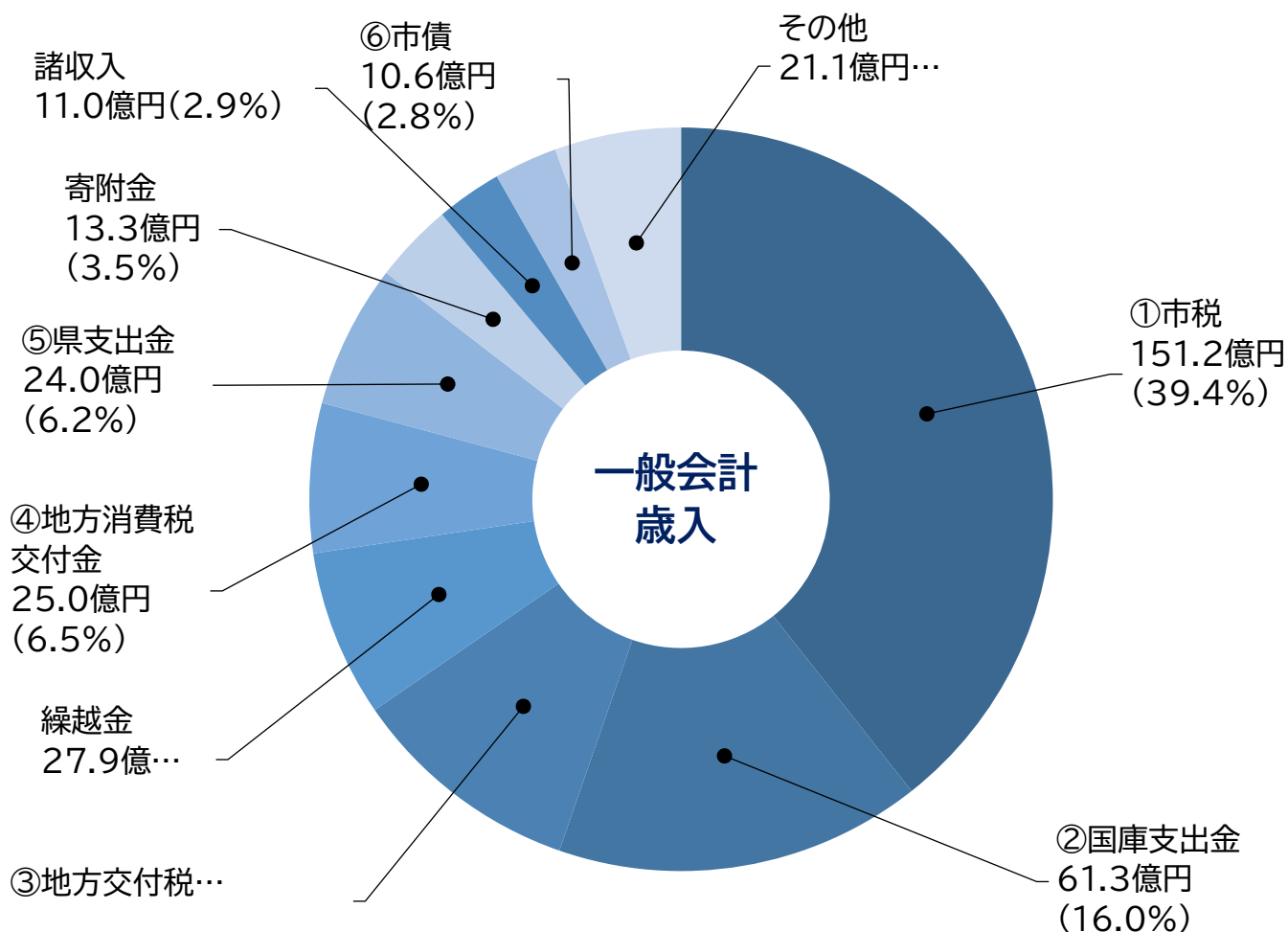
可児市にいくらお金が入り、どういったことにいくら使ったのかを整理します。それを踏まえ、各事業を点検し、より良い市民サービスを提供できるよう、次年度以降の予算に生かしていきます。

MEMO 新たに予算が必要となったときはどうするの？

災害など不測の事態が起きたときなど、新しく施策や事業を行う必要がある場合、予算（＝計画書）を変更する必要があります。これを補正予算といいます。令和5年度は物価高騰への対応に必要な費用など、計12回の補正予算を組みました。

※補正予算・・・新たに予算を追加したり、変更したりして必要なことに対応すること。

可児市の令和5年度の 1年間の収入は384億1,843万円です



①市税

可児市で暮らす人が納める個人市民税、市内に事業所を持つ企業等が納める法人市民税、市内に土地や家などを所有する人や企業等が納める固定資産税などです。

②国庫支出金・⑤県支出金

国（県）が、市の事業を支援してくれたり、負担してくれたりするお金です。

③地方交付税

日本全国どこで暮らしても同じような行政サービスを受けられるように、可児市民の生活に必要な費用と可児市に入るお金を比べて、その不足分を国が補てんしてくれるものです。

④地方消費税交付金

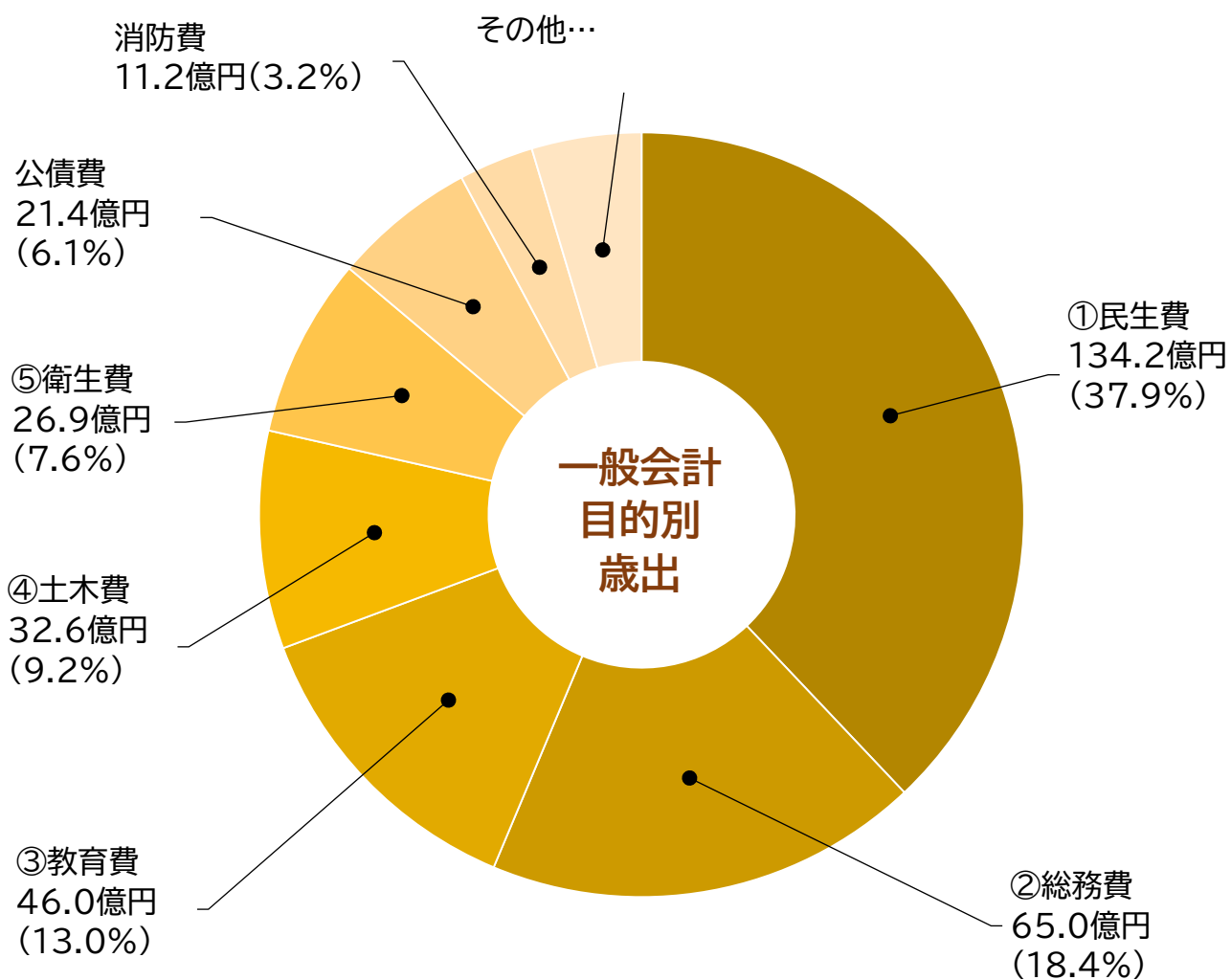
物を買ったときなどに支払う消費税10%（軽減税率8%）の内、2.2%（1.76%）分は県に納められ、その半分の1.1%（0.88%）分が人口などに基づいて各市に配分されます。このお金は、保育園・幼稚園の無償化などの社会保障費にも一部充てられています。

⑥市債

主に公共施設の整備などを行うために銀行などから借り入れるお金のことです。

（なぜお金を借り入れるのかなど、詳しくは7ページをご覧ください。）

可児市の令和5年度の 1年間の支出は353億6,923万円です



①民生費

子どもから高齢者まで、市民の皆さんが安定した生活を送ることができるような福祉にかかる費用です。

②総務費

さまざまな行政サービスを提供できるよう市政運営全般にかかる、諸々の費用です。財産管理や税の賦課・徴収、選挙、統計などにかかる費用が含まれます。

③教育費

幼稚園や小中学校での教育にかかる費用や、文化創造センター・アーラや体育施設の維持管理・運営をはじめとした、文化やスポーツなどにかかる費用です。

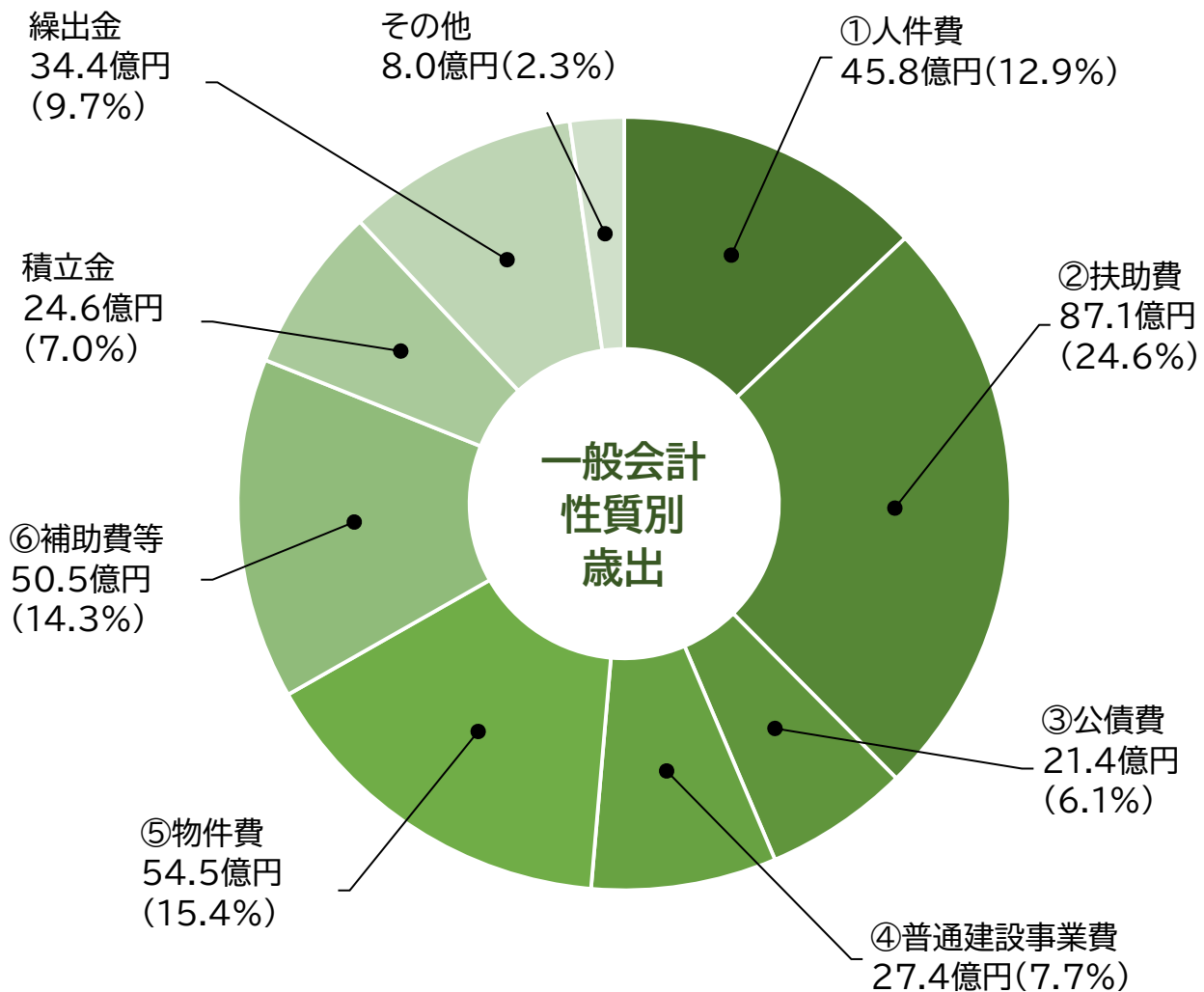
④土木費

道路の舗装や公園の維持管理などインフラ整備にかかる費用です。また、災害に備えて河川などを改修する費用も含まれます。

⑤衛生費

予防接種やごみ処理など、健康や生活環境の維持にかかる費用です。新型コロナワクチン接種にかかる費用もここに含まれます。

可児市の令和5年度の 1年間の支出は353億6,923万円です



①人件費

職員の給料や、議員報酬などの費用です。

②扶助費

子どもから高齢者まで、さまざまな援助にかかる費用です。病気などで生活に困っている人を支援する生活保護や障がいのある人が自立した生活を送れるよう各種福祉サービス、また保育園への保育費などがあります。

③公債費

道路や公共施設の建設などを行うために、銀行などから借り入れたお金（市債（元金と利息））を返済する費用です。

④普通建設事業費

道路や公共施設などの整備にかかる費用です。

⑤物件費

各種市民サービスに必要な業務委託料や物品の購入費などの費用です。

⑥補助費等

ごみ処理を担う可茂衛生施設利用組合や消防・救急を担う可茂消防事務組合の負担金、個人や各種団体に交付する補助金などの費用です。

令和5年度の主な取り組み (重点事業)

【高齢者の安気づくり】

認知症の人やその家族が安心して暮らせるまちへ

認知症やその家族を見守るための取り組みとして、認知症サポーターを養成するための講座の開催や、コールセンターの連絡先が登録されたシールの配付などを行っています。

令和5年度は新たに、認知症の人が日常生活における偶発の事故により損害賠償を負ってしまった場合に、本人やその家族が補償を受けるための保険に市が加入しました。

介護予防の充実

運動や脳力トレーニングが楽しめる「まちかど運動教室」や、認知症について学べる「認知症予防教室」など、みんなで楽しく健康維持と介護予防ができるイベントを多数開催しました。



認知症予防教室「はつらっつ」の様子

【子育て世代の安心づくり】

全ての子どもの居場所づくり

不登校児童生徒の支援の場であるスマイリングルームに、子どもと学校や家庭をつなぐ「つながりサポーター」を新たに配置し、家庭訪問やメタバース（仮想空間）などを通じて、子どもの学習支援や保護者の悩み相談などの不登校支援を行いました。令和5年度は1,154回の家庭訪問を実施し、34人の児童生徒とつながることができました。

保育の支援体制を拡充

医療的ケアを必要とする子どもや、発達に問題を抱える子どもが安心して通園できるよう、看護師や加配保育士の配置や、その費用の助成を実施しました。



タブレットを活用し、採点や指導を行う
つながりサポーター

可児市が重点的に取り組む4つの方針に基づいて行った 主な事業を紹介します。

【地域・経済の元気づくり】

可児市運動公園のリニューアルオープンに向けて

市民スポーツの拠点である可児市運動公園の再整備を進めています。令和5年度は運動公園グラウンド（東ゾーン）の工事に着手しました。全面に人工芝を張り、野球、サッカー、ホッケーなどのスポーツに加え、様々なレクリエーションにも利用できる多目的グラウンドとしてリニューアルします。運動公園グラウンドは令和8年3月に完成する予定です。

市の発展に向けて

可児御嵩インターチェンジ工業団地の開発を進めています。令和5年度は第1工区の工事が完了し、第2工区造成工事に着手しました。



造成後の可児御嵩インターチェンジ工業団地

市内の道路を安全・快適に

道路を安全・快適に通行できるように、舗装修繕工事を実施しています。令和5年度は愛岐ケ丘や鳩吹台など、団地内などにある生活道路の舗装修繕を進めました。また、可児駅西側にある道路（市道117号線）を拡幅し、歩道を設置する工事が完了し、歩行者も車も快適に通行できるようになりました。



工事前(左)と工事後(右)の市道117号線

【まちの安全づくり】

令和5年度の主な取り組み (重点事業以外)

買い物&おしゃべりしながら本と出会う

【カニミライブ図書館】

無印良品ヨシヅヤ可児店内に新しい図書館がオープンしました。店舗との垣根がなく、買い物ついでに気軽に立ち寄れる場所にあり、年中無休、おしゃべりOK、AI技術による自動貸出機の導入など、可児市の図書館として新たな試みを取り入れました。また、この図書館を拠点に、地域活性化や子育て支援、健康維持に関する取り組みを推進していきます。



カニミライブ図書館オープン初日の様子

子育て世帯の経済的負担を軽減

【子育て支援の充実】

物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減するために、18歳以下の子どもや妊婦を対象に市オリジナルのカatalogギフトを送付したり、給食材料費の値上がり分を市で負担したりするなどしました。

遊びを楽しむイベントの開催

自然や食、歴史文化を楽しむ「木曽川こどもひろば」や、川遊びの楽しさとリスクを伝える「木曽川水遊び」、デジタル機器を手放し自然の中でリフレッシュする「親子でデジタルデトックス」など、親子で楽しめるイベントを多数実施しました。



木曽川こどもひろばで開催されたチャンバラ合戦

令和5年度に実施した特色ある取り組みを紹介します。

太陽光発電設備の設置を支援

家庭からのCO₂排出量を削減し地球温暖化対策を推進するため、住宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置する費用を助成しました。令和5年度は47件、合計2,456万3千円を交付しました。



市HPで公開している啓発冊子

公共施設の照明LED化を実施

脱炭素化を推進するため、公共施設の照明設備を計画的にLED化しています。令和5年度は小学校（11校）や文化創造センター・アールなど、約20施設の照明をLEDに更新しました。

窓口の手続きをかんたんに

住民票の写しと印鑑登録証明書について、これまで申請書を記入してもらっていましたが、職員が内容を聞き取り申請書に印字してお渡しできるようになりました。

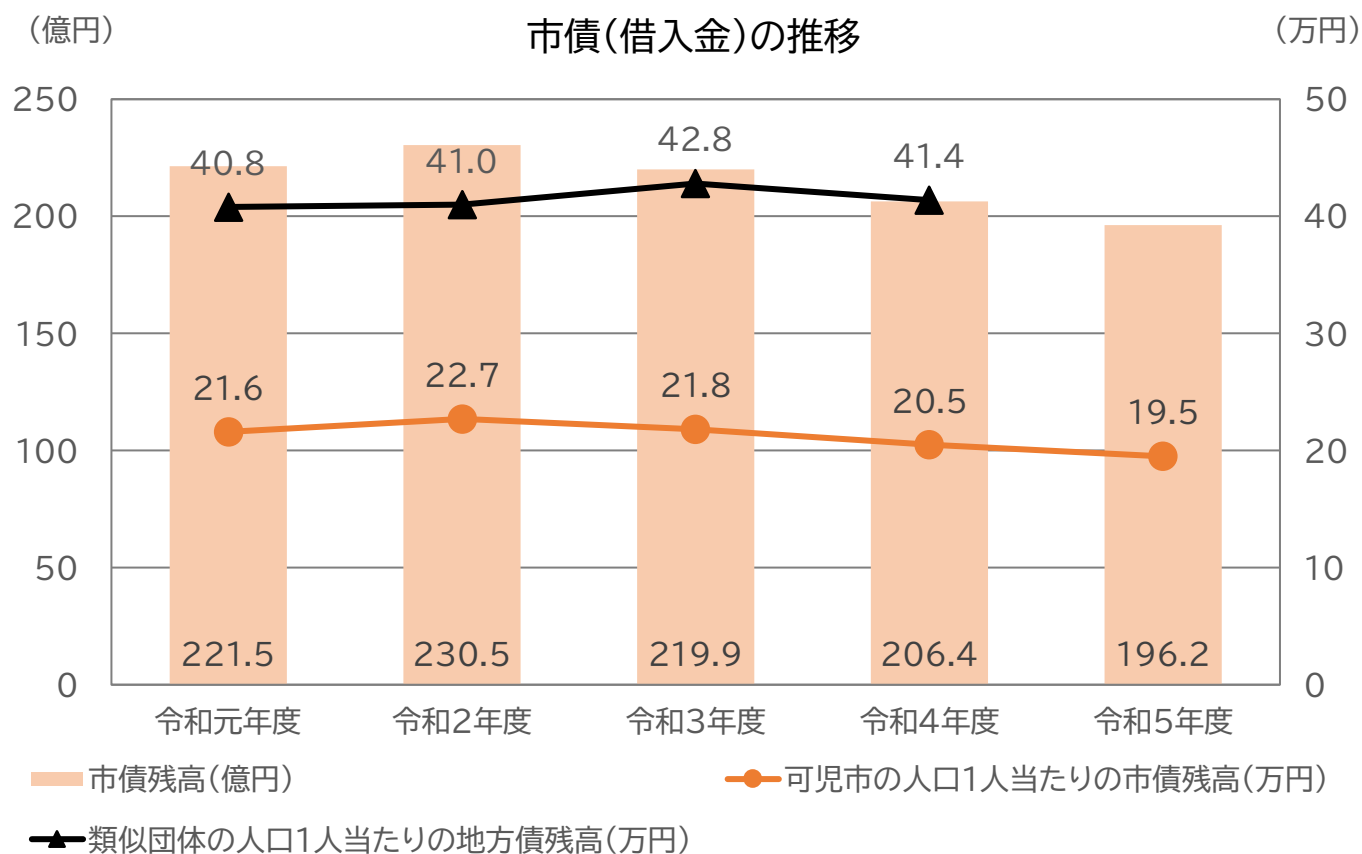
キャッシュレス決済に対応

住民票の写しなどの発行手数料や地区センターの利用料など、窓口での支払いに、クレジットカード、電子マネー、QRコードの決済が使えるようになりました。使用できる決済方法は市HPにてお知らせしています。



キャッシュレス決済端末

可児市には借金がいくらあるの？



市債は可児市の借金にあたるものです。

市債残高は、子育て健康プラザマーノの建設や文化創造センターアークの大規模改修などもあり、令和2年度には約230.5億円となりました。これらの大型事業の終了などもあり、令和5年度現在では令和2年度をピークに減少方向に推移しています。類似団体(※)と比較すると、人口1人当たりの市債残高は半分程度となっています。

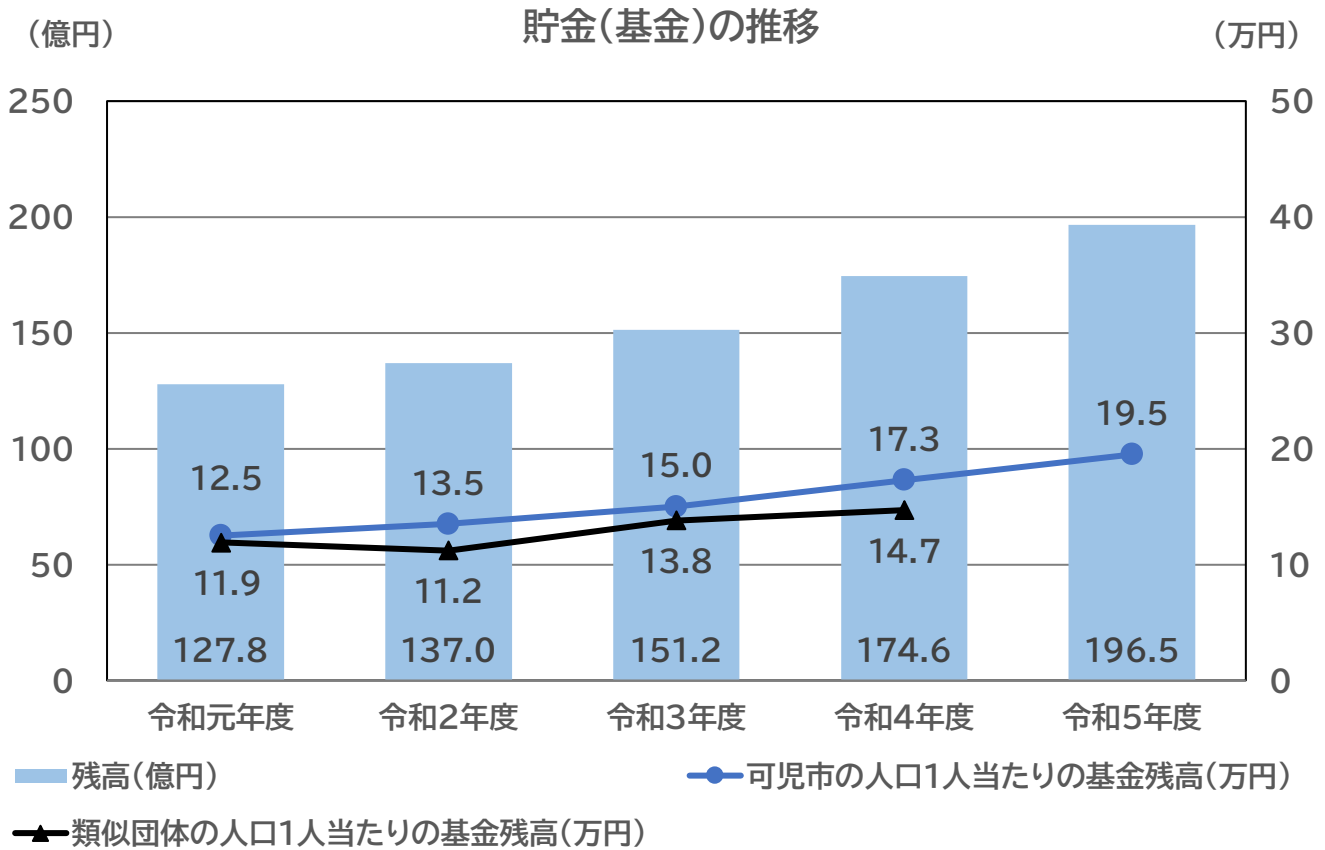
※類似団体…可児市と同じような人口規模や産業構造を有する自治体。(関市、愛知県犬山市など)

自治体が借り入れできるのは、インフラや学校の整備など建設事業に限られています(一部除く)。つまり、収入が少ないからといって、その不足分を補てんするようなかたちでは、お金を借りることはできません。

MEMO 市には、基金(貯金)があるのに、なぜお金を借りるの？

お金を借りることができる事業は上記で説明したように、道路や施設の整備などに限られますが、こうしたものは、将来にわたって多くの人を使うものになります。よって、お金を借りて分割で支払うことで、将来にわたり広い世代で負担していくという機能もあります。

将来に備えて貯金しています



基金は可児市の貯金にあたるものです。

基金残高は、平成23年度末では72.3億円でしたが、令和5年度末には196.5億円となり、増加傾向にあります。類似団体と比較しても、人口1人当たりの基金残高は同程度で推移しています。

※可児市の主な基金

財政調整基金：災害対応や予算編成時の財源として使います。

公共施設整備基金：市役所本庁舎や子育て健康プラザ・マーン、市内14カ所ある地区センターをはじめとした公共施設の更新費用として使います。

基金は自治体の条例に定めることで、目的ごとにつくることができます。可児市では、上記2つの基金のほかに12の基金を設置しています。

MEMO 基金の役割って？

それぞれの基金には役割があります。例えば、財政調整基金は、災害などの不測の事態や年度間の財源不足に備えるために積み立てています。また、公共施設整備基金は、公共施設の維持や更新に関する計画に基づいて、今後、整備する施設が集中する年度に備えてお金を積み立てています。

自治体の財政状況を知るには こんな指標があります

指 標	説 明	令和5年度決算 算出結果	令和4年度決算 類似団体平均	令和4年度決算 県内平均
自治体の財政力！ 財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど財源に余裕があり、1を超えると財政的に豊かということで普通交付税が交付されません。	0.81	0.71	0.56
低い数値ほど良好！ 実質公債費 比率	借り入れた市債を返済するためのお金が、見込まれる収入に占める割合を示すもので、低い数値ほど良好となります。	△ 0.8%	6.6%	4.7%
将来に負担はある？ 将来負担比率	市債残高をはじめとした負担しないといけないお金について、将来財政を圧迫する可能性がある可能性の度合いを示すものです。	負担見込額 なし	負担見込額 なし	負担見込額 なし

可児市の財政力指数は、県内の市で比較したとき、各務原市・大垣市、岐阜市に次いで4番目に高い数値となっています。これは、他市と比べて市税収入をはじめ自己調達できるお金が多いということを示しています。

自治体の将来的な負担を示す指標となる実質公債費比率や将来負担比率から見ても、可児市の財政状況は良好な状態を維持しています。これまでお金を借り入れてきた市債残高が他の団体と比較しても、少ないことが主な要因となっています。

可児市では、これからも市民の皆さんや企業とも連携して「住みごこち一番・可児 ～安心・元気・楽しいまちの推進」を目指していきます。

